

V編 その他

質問	回答	備考
<p>○便覧等各種技術資料の取扱</p> <p>既設橋の補修補強設計を行う際にこれまで便覧等各種技術資料を参考にしてきたが、道路橋示方書が改定された後もこれらの資料は参考にできるのか？</p>	<p>個別の設計における各種技術資料の利用にあたっての位置付けや利用方法については、従来と変わらず、個別に道路管理者と協議し、決定するものです。</p>	<p>(H30. 2. 28 更新)</p>

V編 5章 構造解析手法

質問	回答	備考
<p>○地盤抵抗を考慮する地盤</p> <p>耐震設計上の地盤面の上方の互層内に3 m未満の地盤抵抗が期待できる土層が存在する場合、その土層の地盤抵抗を考慮してよいか。</p>	<p>平成29年道路橋示方書 V 耐震設計編 5.1(2)では、地盤抵抗は、耐震設計上の地盤面の下方において考慮することを標準とすることが規定されています。これは、同解説で解説するとおり、耐震設計上の地盤面の上方に水平抵抗を期待できる可能性のある地盤がある場合でもその水平抵抗が確実でない場合には、安全側となることを考慮したものです。</p>	<p>道示V p.116 5.1(2)の解説 (H30.6.8公表)</p>